

## 令和3年度教育研究活動報告書

氏名	藤井 佐美	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	教授
専門分野	民俗学・伝承文学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	瀬戸内文化論、民話研究、民俗学1、民俗学2、伝承文学専門演習a、伝承文学専門演習b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）、文化財学、尾道学入門（オムニバス）、文章表現法入門
大学院	日本文学・言語文化総論（オムニバス）、地域文学特論、研究指導（論文指導）
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）日本の民間説話	
（2）説草と唱導の場	
（3）地域の伝承文化	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R3・R2・R1	
R3	〈論文〉 昔話の扉をひらく3「姥捨山」－「幸せな姥捨山伝承」より－ （尾道文学談話会会報第12号、令和4年2月4日） 〈論文〉 今治市村上海賊ミュージアム所蔵『ばけ物三十六歌仙』を読む （尾道文学談話会会報第12号、令和4年2月4日） 〈論文〉 昔話の伝承世界－仏教説話と地域文化の変容－（尾道市立大学地域総合センター叢書11 令和3年12月） 〈エッセイ〉 幸せな姥捨山伝承（エッセイ誌 R 令和3年8月25日）
R2	〈論文〉 昔話の扉をひらく2「犬の足」－後ろ足を上げる理由－（尾道文学談話会会報第11号、 令和3年2月3日）
R1	〈論文〉 昔話の扉をひらく1「猫と南瓜」－自然生えの南瓜は食べるものでない－ （尾道文学談話会会報第10号、令和2年2月4日） 〈分担著書〉 『47都道府県・民話百科』広島県・愛媛県（令和元年11月25日、丸善出版）
H30以前の主な研究業績	
（1）〈共著書〉 『琉球の伝承文化を歩く4 八重山・石垣島の伝説・昔話（二）---登野城・大川・石垣・新川---』 （平成29年、三弥井書店）	
（2）〈論文〉 『説経才学抄』覚書 --- 演変の様相 ---（『唱導文学研究』第11集、平成29年、三弥井書店）	
（3）〈論文〉 尾道市久山田町の伝承文化3---平成28年度・民俗研究の展示より---（『尾道文学談話会会報』第7号、 平成29年2月）	
（4）〈論文〉 平成二十八年度日本文学科フィールドワーク成果報告（『尾道文学談話会会報』第7号、平成29年2月）	
（5）〈論文〉 伝承文学比較双書『鷹と鍛冶の文化を拓く 百合若大臣』（平成27、三弥井書店）	
（6）〈論文〉 絵巻『道成寺縁起』を読み解く－安珍清姫伝説を追って－（『尾道文学談話会会報』第6号、平成27年）	
（7）〈論文〉 真福寺蔵『説経才学抄』布施の唱導説話－演変をめぐる注解－（『尾道市立大学芸術文化学部紀要』 第13号、平成26年）	
（8）〈論文〉 尾道市久山田町の伝承文化2－平成二十六年度・鉦太鼓踊りの調査研究－ （『尾道文学談話会会報』第6号、平成26年）	
（9）〈論文〉 民話に関する大学生の意識調査－尾道市立大学「民話研究」のアンケート結果を中心に－ （『尾道文学談話会会報』第5号、平成26年）	
（10）〈論文〉 尾道市久山田町の伝承文化1－平成23～24年度の調査研究－ （『尾道市立大学地域総合センター叢書』7、平成26年）	
（11）〈論文〉 中世文学と隣接諸学シリーズ8『中世の寺社縁起と参詣』（平成25年、竹林舎）	
（12）〈論文〉 石垣島の御嶽と説話---四箇の伝承事例を中心に---（『説話・伝承学』第20号、平成24年）	

(13) <論文> 南島説話と祭祀の変容 ―神女・真乙婆をめぐる伝承― (『尾道市立大学日本文学論叢』第8号、平成24年)			
(14) <単著書> 真言系唱導説話の研究 ---付・翻刻 仁和寺所蔵『真言宗打聞集』 (平成20年、三弥井書店、日本学術振興会平成20年度科学研究助成図書)			
(15) <論文> シリーズ『唱導文学研究』第2集、3集、4集、5集、6集、三弥井書店)			
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績) R1・R2・R3			
所属学会・所属団体 役職等と任期			
日本民俗学会、奄美沖縄民間文芸学会(運営委員)、説話・伝承学会、説話文学会、仏教文学会、日本仏教総合研究学会、日本宗教文化史学会、日本昔話学会、日本口承文芸学会、中世文学会、中古文学会、西行学会、伝承文学研究会、唱導研究会、立命館大学日本文学会、尾道市立大学日本文学会、尾道市立大学伝承文化研究会(代表)			
IV 社会活動			
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況)			
(1) 尾道文学談話会(4月開催、5月中止)			
(2) FMおのみち出演			
(3) 栗原公民館講座中止			
公開講座	1回		
講演会	回		
出前授業	回		
その他(ラジオ出演)	1回		
(公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入) 尾道文学談話会は本学の活動制限レベルに基づき4月担当のみ開催できたが、例年通り『尾道文学談話会会報12号』の刊行につとめた。例年の一般参加者執筆コーナーについても常連参加者へ個別に連絡し、例年同様の協力を得ることができたことから地域貢献の成果につながった。			
2. 委員会及び協議会委員(本年度1年間の活動状況)			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数(回)
(1) 尾道市関係	尾道市文化財保護委員会		全回